

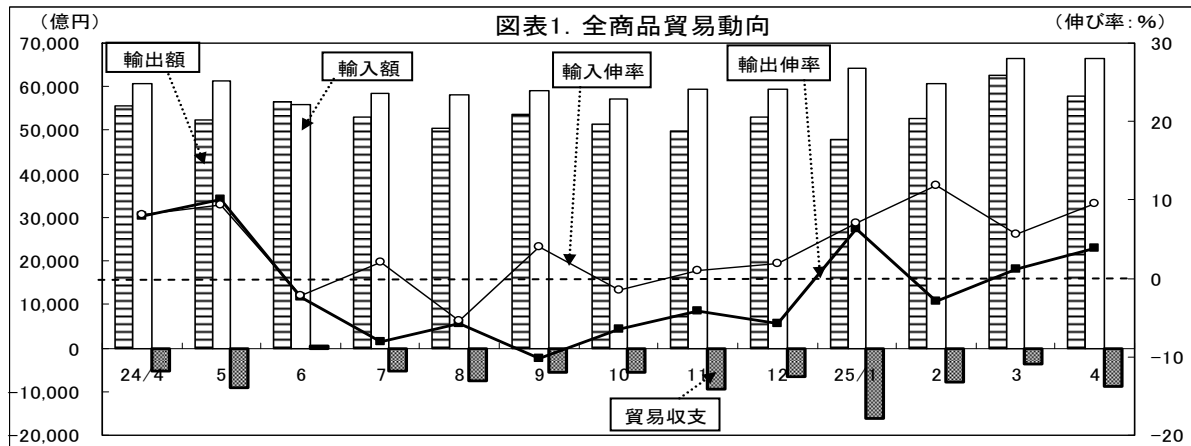
## 最近の機械貿易動向(4月)～機械輸出、円高是正下でもマイナス続く～

日本機械輸出組合 2013. 6. 17

平成25年4月の機械輸出額は3兆6,318億円、対前年同月比1.9%減と3カ月連続でマイナスとなった。これは、①北米以外の全ての地域がマイナスになったこと、②機械輸出額の約37%を占める自動車の伸びが7.4%増となったものの、産業機械、民生用電子機械、船舶、建設機械、工作機械が大幅に減少したことなどによる。4月は為替・営業日で14.3%の増加要因となったが、実質的な伸びは16.2%減とマイナス幅が拡大した。5月はさらに円安が進み、営業日が同じで13.4%の増加要因となるが、機械輸出額は、仮に4月の実質的な伸び(16.2%減)が続くとすれば、前年比2.8%減と予想される。貿易統計速報では5月上中旬の全商品の輸出の伸びは6.2%増であった。

### 1. 全商品貿易動向～輸出はプラス成長なるも、貿易赤字は4月では最大～

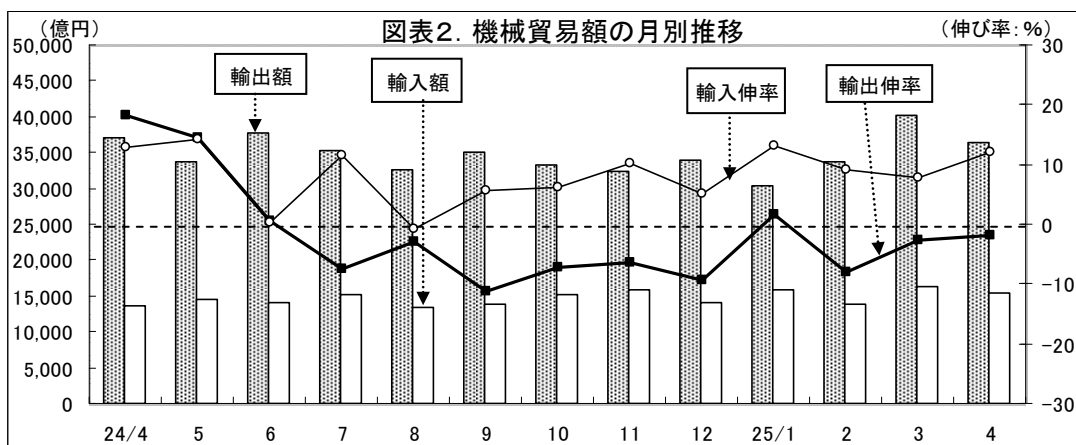
- 平成25年4月の全商品輸出額は**5兆7,766億円**、前年同月比(以下同じ)**3.8%増**とプラス幅が拡大した(3月1.1%増)。これは全輸出額の約17%を占める電気機器(4.0%増)、約11%の有機化合物・プラスチック等化学製品(13.5%増)、約14%の鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(7.8%増)等が増加したことによる。
- 輸入額は**6兆6,585億円**、**9.5%増**となり、プラス幅が拡大した(3月5.6%増)。これは、円高是正の進行と全輸入額の約11%を占める電子部品・通信機等電気機器(16.6%増)、約8%の非鉄金属等原料別製品(15.1%増)、非鉄金属鉱等原料品(10.6%増)等が増加したためである。
- この結果、輸入の伸び率が輸出を上回り、輸出額から輸入額を差し引いた4月の貿易収支は、8,819億円と7月以降10カ月連続で貿易赤字となり、4月としては1979年以降最大の赤字となった。



### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～機械輸出は3ヶ月連続マイナス、輸入は8ヶ月連続プラス、リーマン前を超える～

- 全商品輸出額の約63%を占める4月の機械輸出額は**3兆6,318億円**、**1.9%減**とマイナス幅はやや縮小した(3月2.6%減)。輸出額の水準は、リーマンショック前(平成20年4月)と比べると**77.3%**となり、前月の水準に比べ0.7ポイント回復した(3月76.6%)。
- 一方、全商品輸入額の約23%を占める機械輸入額は、**1兆5,405億円**、**12.1%増**と8ヶ月連続の増加となった(3月7.8%増)。また、輸入額の水準は、リーマンショック以前の**101.5%**とリーマンショック以来、初めてリーマンショック以前の水準を超えた。

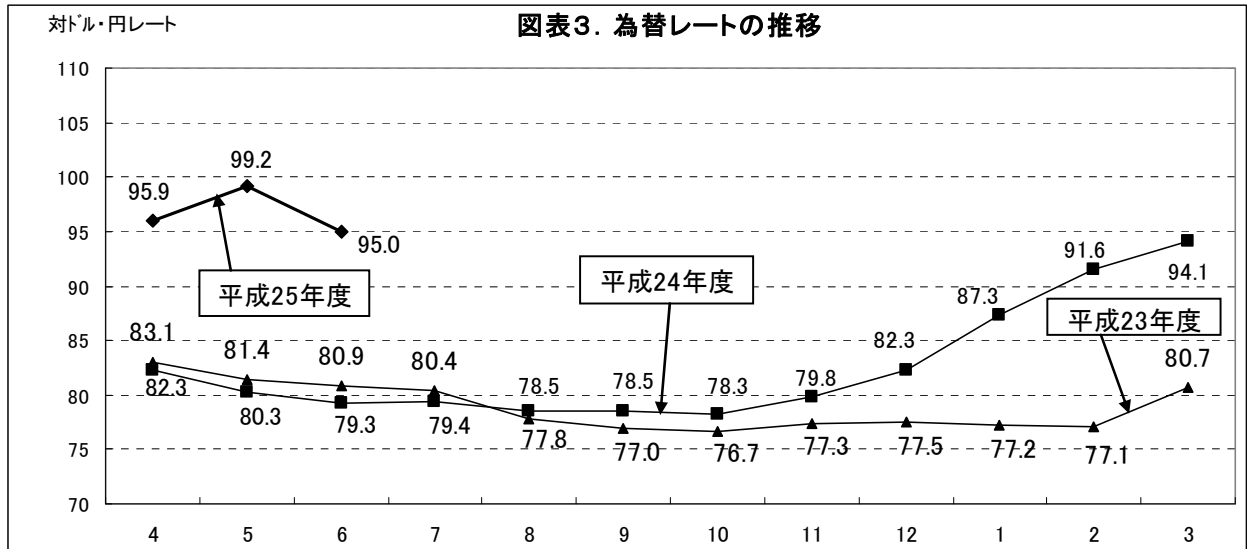


(2) 為替動向・営業日～4月は為替・営業日で14.3%の増加要因、5月は13.4%の増加要因～

1) 4月は1ドル=95.9円と円安が進み、前年に比べ16.6%の円安となった。また、対ユーロも123.9円と前年に対して14.3%と円安が進展し、合わせて約9.3%の為替増加要因となった。営業日は実働日が1日多く、5.0%の増加要因となり、合わせて14.3%の増加要因となる。4月の輸出額は1.9%減であったことから、実質的伸び率は16.2%減とマイナス幅は拡大した(3月7.1%減)。

2) 5月は1ドル=99.2円とさらに円安が進み、前年に比べ23.6%の円安となった。また、対ユーロでは129.6円で前年に対し23.3%の円安となり、合わせて約13.4%の為替増加要因となった。営業日は同じため、合計13.4%の増加要因となる。

3) 6月は、対ドルで円高に動き、現状の95円とすれば、前年と比べて19.8%の円安、また、対ユーロも126円と26%の円安となり、合わせると約11.6%の為替増加要因となる。営業日は1日少ないので4.8%の減少要因となり、合計6.8%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～3ヶ月連続で北米のみがプラスとなり、それ以外の全ての地域でマイナス～

1) 機械輸出額が減少したのは、①機械輸出額の19.9%を占める**その他地域向け**で、中南米(27.1%減)、大洋州(15.9%減)、アフリカ(12.3%減)が大幅なマイナスとなり、機種では、全体の約63%を占める自動車(8.0%増)がプラスとなったが、船舶(63.9%減)、建設機械(41.2%減)、軽電気機械(8.3%減)が減少となって**11.3%の減少**となったこと、②15.7%を占める**中国向け**が民生用電子機械(デジカメ等、16.8%減)、重電気機械(13.7%減)、産業機械(3.9%減)、自動車(2.3%減)、軽機械(分析・試験・検査機等、6.3%減)等がマイナスとなり、**4.5%減**となったこと、③10.9%を占める**EU向け**は、民生用電子機械(21.4%減)、建設機械(25.1%減)、軽機械(7.9%減)、自動車(4.4%減)が大幅にマイナスとなり、**4.5%減**となったこと、④28.4%と最大輸出先の**NIES/ASEAN向け**は、インドネシア(9.6%減)、タイ(6.3%減)、香港(3.7%減)が大幅減となり、業種では、産業機械、電子デバイス、民生用電子機械、光学機械、船舶等が大幅減となって**1.7%減**となったことによる。

2) 他方①機械輸出額の25.2%を占める**北米向け**は、全体の約50%を占める自動車(13.8%増)をはじめ、重電気機械(13.0%増)、軽電気機械(21.1%増)が増加し、**10.2%増**となった。

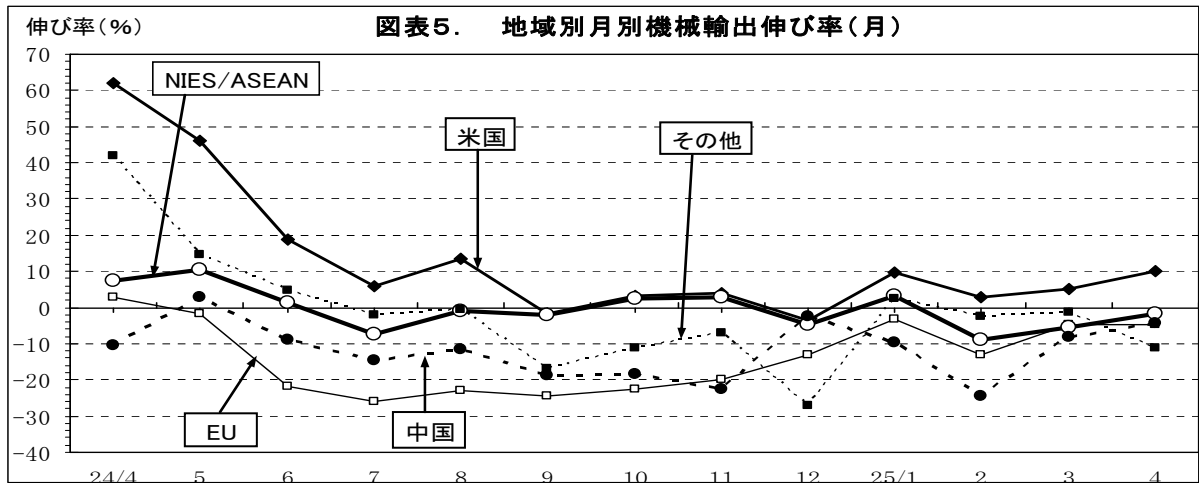
3) また、リーマンショック前の平成20年4月の地域別輸出額と比較すると、水準を超えた地域はなく、北米が92%、中国が89%、NIES/ASEANが84%、その他地域が68%、EUは50%と低い水準となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2013/2			2013/3			2013/4			対08年 4月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	33,727	▲ 8.0	100	40,272	▲ 2.6	100	36,318	▲ 1.9	100	0.77
北米	8,666	2.8	25.7	9,295	5.1	23.1	9,148	10.2	25.2	0.92
EU	3,663	▲ 13.0	10.9	4,082	▲ 4.6	10.1	3,941	▲ 4.5	10.9	0.50
NIES/ASEAN	9,084	▲ 8.9	26.9	11,079	▲ 5.4	27.5	10,308	▲ 1.7	28.4	0.84
中国	4,692	▲ 24.6	13.9	6,516	▲ 8.3	16.2	5,689	▲ 4.5	15.7	0.89
その他	7,622	▲ 2.5	22.6	9,299	▲ 1.2	23.1	7,232	▲ 11.3	19.9	0.68

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2013/1		2013/2		2013/3		2013/4	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,516	▲ 5.5	1,668	▲ 8.4	2,058	▲ 1.5	1,894	7.2
台湾	1,399	23.8	1,432	▲ 7.8	1,762	6.5	1,559	▲ 1.2
香港	1,188	0.9	1,097	▲ 18.3	1,443	▲ 8.5	1,461	▲ 3.7
タイ	1,626	20.5	1,796	▲ 5.0	2,031	▲ 10.5	1,853	▲ 6.3
シンガポール	694	▲ 3.9	648	▲ 14.6	946	▲ 6.2	944	6.7
インドネシア	682	▲ 11.1	872	1.8	1,023	▲ 11.0	918	▲ 9.6
マレーシア	535	▲ 12.8	690	▲ 8.0	765	▲ 5.5	677	▲ 3.9
フィリピン	430	▲ 8.9	475	▲ 13.8	522	▲ 12.9	534	▲ 7.1
ベトナム	264	19.1	304	▲ 6.6	409	▲ 3.2	362	2.2
その他地域								
中南米	2,571	3.9	2,057	▲ 13.0	3,014	9.6	2,018	▲ 27.1
中近東	1,254	3.1	1,550	▲ 6.0	1,748	▲ 3.8	1,547	6.5
大洋州	939	▲ 16.2	1,195	▲ 0.6	1,388	▲ 13.6	1,188	▲ 15.9
ロシア東欧等	1,178	29.0	1,361	5.3	1,460	7.5	1,376	6.6
アフリカ	675	12.8	950	50.1	927	▲ 18.0	590	▲ 12.3
インド	367	▲ 3.4	387	▲ 20.8	485	▲ 11.5	417	0.5

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～19業種のうち10業種がマイナス、自動車は2ヶ月ぶりにプラスへ～

- 業種別では、全19業種中10業種がマイナスで、3業種減少した(3月13業種)。全体の約37%を占める自動車がプラスとなったものの(7.4%増)、産業機械(6.6%減)が22ヶ月連続マイナスとなり、民生用電子機械、船舶、建設機械、工作機械、通信機械が二桁のマイナスとなった。その他、電子デバイス、繊維機械が二桁増、医療機械、軽電気機械、重電気機械が比較的高い伸びとなった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えているのは医療機械、ベアリングの2業種で、他方、民生用電子機械、通信機械、電子計算機、産業車両は、40%から50%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位: 億円、%)

機種名	2013/2			シフト	2013/3			シフト	2013/4			対08/4比
	金額	伸び率	シフト		機種名	金額	伸び率		シフト	機種名	金額	
自動車	12,388	▲ 2.5	36.7	自動車	13,024	▲ 1.2	32.3	自動車	13,269	7.4	36.5	0.80
産業機械	5,564	▲ 23.1	16.5	産業機械	7,031	▲ 2.8	17.5	産業機械	6,095	▲ 6.6	16.8	0.83
電子デバイス	2,455	▲ 19.2	7.3	電子デバイス	3,021	▲ 0.5	7.5	電子デバイス	2,894	10.0	8.0	0.76
軽電気機械	1,699	▲ 14.8	5.0	船舶	2,260	2.2	5.6	軽電気機械	1,913	6.2	5.3	0.76
重電気機械	1,588	▲ 34.2	4.7	重電気機械	2,102	▲ 1.9	5.2	重電気機械	1,850	6.1	5.1	0.91
船舶	1,513	▲ 31.6	4.5	軽電気機械	2,077	4.1	5.2	民生用電子機械	1,505	▲ 14.8	4.1	0.47
民生用電子機械	1,229	▲ 38.3	3.6	民生用電子機械	1,591	▲ 19.8	4.0	軽機械	1,381	3.6	3.8	0.79
軽機械	1,217	▲ 19.9	3.6	軽機械	1,464	▲ 3.6	3.6	光学機械	1,203	▲ 5.1	3.3	0.99
光学機械	1,131	▲ 3.4	3.4	光学機械	1,415	12.8	3.5	船舶	1,145	▲ 47.5	3.2	0.64
建設機械	920	▲ 44.2	2.7	建設機械	1,355	▲ 17.8	3.4	建設機械	916	▲ 27.1	2.5	0.61
工作機械	675	▲ 27.8	2.0	工作機械	885	▲ 23.9	2.2	工作機械	610	▲ 28.6	1.7	0.79
電子計算機	438	▲ 13.3	1.3	電子計算機	530	4.9	1.3	通信機械	429	▲ 10.0	1.2	0.50
通信機械	415	▲ 8.9	1.2	通信機械	485	▲ 10.2	1.2	電子計算機	396	▲ 0.1	1.1	0.40
医療機械	346	17.2	1.0	医療機械	448	5.8	1.1	陸用内燃機関	367	▲ 3.2	1.0	0.84
ベアリング	321	▲ 6.9	1.0	陸用内燃機関	429	▲ 4.2	1.1	ベアリング	364	▲ 3.7	1.0	1.02
陸用内燃機関	313	▲ 30.1	0.9	ベアリング	377	▲ 4.4	0.9	医療機械	309	9.2	0.9	1.25
繊維機械	201	12.5	0.6	繊維機械	231	11.4	0.6	繊維機械	205	46.4	0.6	0.80
農業機械	160	8.2	0.5	農業機械	175	▲ 1.6	0.4	農業機械	150	▲ 0.5	0.4	0.63
産業車両	110	▲ 16.5	0.3	産業車両	129	▲ 8.6	0.3	産業車両	125	6.6	0.3	0.53
19業種合計	32,683		96.9	19業種合計	39,029		96.9	19業種合計	35,126		96.7	0.76

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: パソコン、HDD、プリンター等部品。

軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

**(5) 機種別動向～繊維機械、原動力機械等が大幅増加、船舶、建設機械等は大幅減～**

- 1) 10%以上の伸び率を示した機種は、①中国、その他地域、NIES/ASEAN 向け**繊維機械** (46.4%増)、②NIES/ASEAN、中国、EU、北米向け**原動力機械** (45.2%増)、③NIES/ASEAN、その他地域、北米向け**運搬機械** (29.0%増)、④NIES/ASEAN、中国向け**電池** (14.8%増)、⑤NIES/ASEAN、中国向け**電子デバイス** (10.0%増)、⑥北米、EU 向け**TV** (10.0%増)であった。
- 2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、録画・再生機器 (48.1%減)、船舶 (47.5%減)、デジカメ・ビデオ (34.5%減)、工作機械 (28.6%減)、建設機械 (27.1%減)、半導体製造装置 (25.3%減)、エアコン (24.5%減)、磁気カード・ディスク等 (12.9%減)、産業用ロボット (10.4%減)、通信機械 (10.0%減)であった。

**図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)** (単位: 億円)

2013/2			2013/3			2013/4		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
医療機械	346	17.2	電池	193	22.0	繊維機械	205	46.4
運搬機械	239	16.4	光学機械	1,415	12.8	原動力機械	501	45.2
電池	168	12.6	運搬機械	273	11.5	運搬機械	261	29.0
繊維機械	201	12.5	繊維機械	231	11.4	電池	199	14.8
機種合計	954	2.8%	電気・電子計測器	498	10.4	電子デバイス	2,894	10.0
			機種合計	2,417	6.0%	TV	92	10.0
						機種合計	4,152	11.4%

は、2ヶ月連続で上位機種 ・機種合計の%は輸出額に占める割合

**図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内)** (単位: 億円)

2013/2			2013/3			2013/4		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
電子応用装置	35	▲ 45.2	発電機	117	▲ 51.8	録画・再生機器	9	▲ 48.1
デジカメ・ビデオ	322	▲ 39.6	デジカメ・ビデオ	509	▲ 35.9	船舶	1,145	▲ 47.5
半導体製造装置	858	▲ 37.3	録画・再生機器	11	▲ 32.9	デジカメ・ビデオ	440	▲ 34.5
発電機	82	▲ 30.9	エアコン	9	▲ 26.2	工作機械	610	▲ 28.6
工作機械	675	▲ 27.8	半導体製造装置	999	▲ 24.2	建設機械	916	▲ 27.1
建設機械	920	▲ 25.9	工作機械	885	▲ 23.9	半導体製造装置	860	▲ 25.3
時計	65	▲ 24.5	時計	89	▲ 21.2	エアコン	8	▲ 24.5
磁気カード・ディスク等	130	▲ 24.3	建設機械	1,355	▲ 17.8	磁気カード・ディスク等	149	▲ 12.9
陸用内燃機関	313	▲ 19.1	電子応用装置	63	▲ 17.5	産業用ロボット	98	▲ 10.4
録画・再生機器	13	▲ 19.0	磁気カード・ディスク等	158	▲ 16.9	通信機械	429	▲ 10.0
機種合計	3,413	10.1%	機種合計	4,195	10.4%	機種合計	4,664	12.8%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内

**(6) 機械輸入動向～電子デバイス、携帯電話、自動車部品が大幅増、航空機類が大幅減～**

- 1) 4月の機械輸入伸び率は12.1%増と8ヶ月連続で増加となった。その要因は、二大輸入機種である電子計算機 (1.3%増)と電子デバイス (30.3%増)に加え、携帯電話 (20.2%増)、自動車部品 (23.3%増)、白物家電 (14.4%増)、乗用車 (24.3%増)、医療機械 (18.4%増)、民生用電子部品 (14.4%増)、風水力機械 (17.8%増)、分析・試験・検査機 (16.1%増)の 2 桁増が大きく影響したためである。他方、減少したのは航空機類 (57.0%減)等であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、白物家電、医療機械、時計、TV、ラジオ、録画・再生機器となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、中国 (11.4%増) (全体の 43%)、ASEAN (25.4%増)、EU (19.7%増)、韓国・台湾 (17.8%増)、北米 (11.3%減)の順となっている。

**図表10. 機械輸入額上位12機種** (単位: 億円、%)

2013/2				2013/3				2013/4			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,701	4.5	12.4	電子計算機	2,009	5.9	12.4	電子計算機	1,769	1.3	11.5
電子デバイス	1,482	16.0	10.8	電子デバイス	1,805	26.9	11.1	電子デバイス	1,739	30.3	11.3
携帯電話	1,107	47.4	8.1	携帯電話	1,067	40.3	6.6	携帯電話	907	20.2	5.9
自動車部品	660	12.9	4.8	乗用車	898	22.2	5.5	自動車部品	759	23.3	4.9
医療機械	542	16.8	3.9	分析・試験・検査機	862	7.1	5.3	白物家電	717	14.4	4.7
乗用車	529	▲ 16.0	3.9	自動車部品	708	3.2	4.4	乗用車	715	24.3	4.6
白物家電	443	13.8	3.2	白物家電	617	10.3	3.8	医療機械	502	18.4	3.3
航空機類	403	25.7	2.9	医療機械	599	12.3	3.7	民生用電子部品	316	14.4	2.1
分析・試験・検査機	352	16.3	2.6	航空機類	478	▲ 22.2	2.9	航空機類	298	▲ 57.0	1.9
光学機械	292	10.7	2.1	光学機械	335	0.0	2.1	光学機械	294	0.0	1.9
民生用電子部品	257	0.9	1.9	民生用電子部品	302	▲ 3.5	1.9	風水力機械	259	17.8	1.7
風水力機械	203	11.4	1.5	TV	270	▲ 5.1	1.7	分析・試験・検査機	258	16.1	1.7
12機種合計	7,971		58.0	12機種合計	9,950		61.3	12機種合計	8,533		55.4

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電・民生用電気機械